

羽田空港航空機衝突事故について

事故概要

令和6年1月2日、日本航空JAL516便（新千歳発羽田行き）が海上保安庁所属JA722A（被災地への支援物資輸送準備中）と羽田空港のC滑走路で衝突し、日本航空機側乗員・乗客379名のうち16名が負傷等、海上保安庁機側乗員6名のうち5名が亡くなるという痛ましい事故が発生した。

事故発生後の国土交通省の対応（令和6年4月1日現在）

事故発生直後	対策本部を設置
令和6年1月3日	航空会社及び管制機関に対し、基本動作の徹底及び管制指示を受けた場合の確実な復唱を含む安全運航のための手順の徹底を指示
1月6日	羽田空港において滑走路への誤進入を常時レーダーで監視する人員を配置
1月9日	「航空の安全・安心確保に向けた緊急対策」を公表
1月19日	第1回羽田空港航空機衝突事故対策検討委員会※を開催
2月15日	第2回羽田空港航空機衝突事故対策検討委員会を開催
2月28日	第3回羽田空港航空機衝突事故対策検討委員会を開催
3月27日	第4回羽田空港航空機衝突事故対策検討委員会を開催

※ 以降、毎月1～2回、「羽田空港航空機衝突事故対策検討委員会」を開催し、令和6年夏頃を目途に中間とりまとめを行う予定

最終的には、運輸安全委員会の事故調査報告も踏まえ、抜本的な安全・安心対策を講ずる予定